

【 株式会社ヤマダ電機 月次IR情報 】



■ 2014年3月期（自2013年4月1日 至2014年3月31日） 売上高前年比推移（POSベース速報）

【全店POSベース売上速報】

（単位：％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計 (単純平均)
(携帯除く)グループ：全店	99.3%	103.0%	118.6%	103.2%	116.1%	111.8%	111.6%	115.3%	112.2%	118.5%			108.0%
(携帯除く)グループ：既存	95.9%		95.9%			98.9%			—			95.9%	

注1：2013年4月度より集計方法を以下の通りに変更しております。

注2：携帯電話速報の集計方法が当業界の各法人によって異なるため、集計から除外しております。ご注意ください。

注3：数値は、店舗POS速報データに基づいており各月及び累計の数値は決算の数値とは異なります。

また、卸売上、ソリューションビジネス関連売上、各種取次手数料売上等のPOSベースではない売上は含まれません。

注4：スクラップ&ビルド該店舗について、スクラップ店舗は閉鎖店とし、既存店集計に含めておりません。

注5：2013年9月度より当社子会社(株)ベスト電器の今年POSベース売上速報値を含めた（前年実績データなし）集計に変更しております。

なお、2013年4月～8月についても同基準にて再集計をし、修正を行っております。既存店集計については、ベスト電器を全て除いております。

■ 月次概況説明

2014年1月度は、正月休み（今年は仕事始めが早い）が前年と比較して短かったことによるマイナス影響があります。また、前年1月19日からインターネット店頭情報一元化管理システムをスタートし、売上の最大化を図ったため、分母が大きくなっています。それに加え、消費増税を控え、一部に駆け込み需要が見られ始めています。商品別では、テレビが単価の上昇により前年を上回りました。冷蔵庫、洗濯機、エアコン等が省エネ・高機能商品の伸長により、単価も上昇し、好調に推移しました。パソコン本体が、WindowsXPからの買い替えにより好調に推移しました。電気料金及び灯油価格の上昇に伴う省エネ意識の向上から電気暖房・石油暖房が伸び悩みました。

■ 当期の売場面積推移

（ベスト電器除く）

（単位：㎡・％）

期初		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	経過月計	累計	期初比
2,232,580	開店	18,362	8,056	7,107	17,167	18,367	8,955	27,645	22,431	21,143	7,910			157,143	2,363,039	105.8%
	増床	0	33	0	0	0	0	71	0	0	0			104		
	閉店	-1,797	0	-7,920	0	-990	-5,198	-983	-9,900	0	0			-26,788		
	計	16,565	8,089	-813	17,167	17,377	3,757	26,733	12,531	21,143	7,910	0	0	130,459		

本月次IR情報の内容は、発表日時点で入手可能な情報に基づき当社月次概況の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本月次IR情報中の数値及び画像等の各データ、説明、イメージ、見解や予定は、多分に不確定な要素を含んでおり、予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。株式会社ヤマダ電機及びそのグループ各社の役員または従業員は、本資料の使用、その内容から生じる直接的、間接的または派生的な損害または損失に対して一切責任を負うものではありません。また、データのダウンロードによって生じた障害や第三者によるデータ改ざん等に対してはいかなる理由があっても一切責任を負うものではありません。あらかじめご了承ください。